

たくみ

No.037

平成28年1月●新春号
信州名匠会

(題字：故 池田三四 前名誉会長)

T A K U M I

平成27年度・第23回総会開催

優れた職人を発掘し技術を継承

信州名匠会(土本俊和会長)は6月25日、平成27年度(第23回)通常総会と講演会を長野市のホテル犀北館で開催した。総会では事業計画や予算を決めた。

土本俊和会長(信州大学教授)はあいさつの冒頭で、前月に急逝された本会会員の建築家・倉橋英太郎氏について、「倉橋先生に設計製図の非常勤講師をお願いしていました」と振り返りながら、倉橋氏の人柄と実績を、敬意と弔意を込めて紹介した。また、「リレートークや現場見学会で、私も学生たちも、優れた職人の方々から貴重なご指導をいただいている。本会は今後、建築や土木といった業界以外の若い人たちにも、たくみの世界の魅力を伝え、若い人たちに後継、継承していただく方向に展開していければ」と、本会の方向性を示した。

講演会では、みずぐ設計(飯田市)の松下重雄氏が講師を務め、「古さこそモダンな家づくり～見よう見まねの50年～」を演題に、建築にかける想いや自身のこれまでの足跡、作品などについて語った。講演会には、同会会員のほか信州大学で建築を学ぶ学生やJIA(日本建築家協会)県クラブの会員らもあわせて60名余りが参加し、松下氏の話聴いた。



会員や来賓、大学生など60名余りが参加して開かれた総会・講演会



あいさつする土本会長

平成27年度 年間スケジュール

平成27年

- 6月25日(木) 第23回通常総会・講演会・懇親会(総務)
- 7月25日(土) 第1回研修会A・C(総務・事業技術)
- 8月27日(木) 親睦スポーツ大会C(会員)
- 9月17日(木) 第2回研修会B(事業技術)
- 10月21日(水) 第3回研修会A・C(総務・会員)
- 11月7日(土)～11月8日(日)
研修旅行B・C(事業技術。協力:総務・会員)
- 12月16日(水) 第4回研修会B(事業技術)

平成28年

- 1月20日(水) 新年会C(会員)
- 2月24日(水) 第5回研修会A・B(総務・事業技術)
- 3月23日(水) 第6回研修会B(事業技術)
- 4月16日(土) 第7回研修会「お花見」C(会員)
- 5月25日(水) 第8回研修会A・C(総務・会員)
- 6月29日(水) 平成28年度 通常総会(総務)

※ 研修会 場所:基本会場(株)宮本忠長建築設計事務所
第2会場(株)降旗建築設計事務所
時間:18:30～20:30

※ 研修内容・場所・日時については決定次第、順次お知らせいたします。

A 会員集会・委員会 B 学習・見学・実習
C 交流 カッコ内は担当委員会

平成27年度通常総会 講演会

「これからは伝える ために生きたい」

有限会社みずび設計
松下重雄さん（信州名匠会会員）

昭和16年に東京で生まれた松下氏は、3歳のころに戦火を逃れて飯田市に疎開、そのまま同市で育った。講演で松下氏は、自然豊かな環境での当時の生活を振り返りながら「美しいものを探求する感性が磨かれ、自然界の刺激に対する好奇心が養われた子ども時代の経験が、自分の建築に大きな影響を及ぼしている」と語った。

松下氏は、数多く手がけてきた古民家再生について独自の設計手法を解説。地域固有の建築様式を備え、300年以上もの間、地域の風景の一部として存在してきた建物を残す意義を訴えた。そうした建物を残しながら、「温熱環境や耐震性を確保し、モダンな照明や家具を効果的に組み合わせることで、快適で安



講演する松下重雄さん

全な現代の暮らしが可能となる住宅として再生する」と話した。

ライフワークとして取り組む「環境建築」については、設計者らが「(省エネなどの)性能に(プランや発想が)とらわれ過ぎている」と指摘。「もっと生態系保全の観点を取り入れるべき」とし、自身がプランニングや設計などを手がけた敷地全体をピオトープに位置づけた工場の事例を紹介した。

松下氏は今後について「これからは伝えるために生きたい」との考えを示し、「建築の仕事ができるのは世の中が平和だから。若い人たちに、ありのままの自然や何気ない風景、そして平和の大切さを伝えていきたい」と想いを語った。

(関 卓実)



陶芸教室の作品を展示

総会の会場では、平成26年度第7回研修会「松代の寺町商家見学、お花見、陶芸教室」(4月18日)に参加した16名の陶芸作品が展示された。村越久子先生のご逝去の後、中断されていた陶芸教室を「松代陶苑」にて行った。村越先生へ思いを馳せながら各々1kgの粘土をもとに、茶碗や湯飲みをはじめとした個性あふれる作品を作った。



二十四ツ星2名、二十二ツ星1名など27名の新認定者が誕生 ～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。新規認定者26名（認定者総数63名）が誕生し、通常総会において認定証を授与された。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっている。

◆「スリースター制度」平成26年度新規認定者

（平成27年6月現在、五十音順、敬称略。紙幅の関係で新規認定者のみ掲載いたします）

☆☆☆二十四ツ星2名☆☆☆
坂田守夫／坂田工業（株）
西澤嘉雄／（有）エヌ設計

☆☆☆二十二ツ星1名☆☆☆
堀誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆十八ツ星2名☆☆☆
高木茂実／松田産業・南信（株）

☆☆☆十七ツ星2名☆☆☆
五明良平／（株）五明

☆☆☆十六ツ星1名☆☆☆
中村光敬／（有）中村木工所

☆☆☆十五ツ星1名☆☆☆
吉田雅彦／（有）スタジオスペースツ

☆☆☆十四ツ星1名☆☆☆
西澤 広智／（株）宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆十三ツ星1名☆☆☆
白石大陸／サンコー特機（株）

☆☆☆十二ツ星1名☆☆☆
鎌倉良収／（株）鎌倉材木店

☆☆☆十一ツ星3名☆☆☆
犬飼栄治／（株）シナノ大理石
岩井秀樹／岩井工業（株）
増田幸雄／匠建設（株）

☆☆☆十ツ星2名☆☆☆
水沢仁亮／（株）二見屋
山本耕平／長野サウナ販売（株）

☆☆☆九ツ星2名☆☆☆
樋田豊／（株）ライフエンジニアリング
宮澤郁夫／宮澤建築

☆☆☆七ツ星1名☆☆☆
内山保／朝陽工芸（有）

☆☆☆六ツ星2名☆☆☆
降幡廣信／（株）降幡建築設計事務所
藤沢和裕／（株）山二

☆☆☆五ツ星1名☆☆☆
田中謙一／（株）角藤長野本部

☆☆☆三ツ星2名☆☆☆
黒澤忠／クロサワメタル（株）
鳥羽英夫／長野サウナ販売（株）

☆☆☆二ツ星1名☆☆☆
荒井孝明／（株）本久

☆☆☆一ツ星3名☆☆☆
関卓実／（株）新建新聞社
松澤朋典／小谷屋根
久保是彦／（株）第一ネームプレート

平成26年度 事業報告（人数は参加者）

平成26年

6月30日（月） 第22回通常総会・講演会・懇親会
「たくみNo.34 夏号 発行」
8月 2日（土） 第1回研修会「野沢温泉スパリーナ」見学会 参加者22名
8月27日（水） 親睦ゴルフ大会 長野カントリークラブ 参加者10名
9月25日（木） 第2回研修会「リレートーク（木工）」宮澤郁夫氏参加者25名
9月29日（月） 平成26年度 第一回理事会「平成26年度研修旅行について」
参加者9名
10月25日（土）～26日（日） 研修旅行「東京 新旧の建物を体感する旅」
参加者20名
11月15日（土） 第3回研修会 「千曲市 荒砥城・知識寺」見学会 参加者25名
12月19日（金） 第4回研修会 「リレートーク（木材）」 鎌倉良収氏
参加者17名

平成27年

1月21日（水） 新年会 ホテル犀北館 参加者28名
1月21日（水） 「たくみNo.35 初春号 発行」
2月25日（水） 第5回研修会「リレートーク（瓦）」西宮登喜男氏 参加者18名
3月26日（水） 第6回研修会「リレートーク（茅葺屋根）」松澤朋典氏 参加者23名
4月18日（土） 第7回研修会「松代 金箱邸見学・お花見・陶芸教室」 参加者16名
4月20日（土） 平成26年度 第二回理事会「平成27年度信州名匠会総会について」
参加者10名
5月30日（土） 第8回研修会「信州県産材加工工場・牛伏フランス式階段工」見学会
参加者18名

平成26年度 会計報告書

自：平成26年6月1日／至：平成27年5月31日

会員動向 (平成2年6月～平成26年6月。敬称略)

- 入会 個人会員■ 小坂 浩一 / 小坂建設(株) / 大工 / 長野市松代町松代1297-10 / 026-278-8481
堀内 太一 / (有) 泉秀園 / 造園 / 千曲市大字桑原82番地1 / 026-272-8072
中沢 清光 / (有) エヌ・テック / 測量 / 長野市稲田3丁目37番12号 / 026-244-0699
- 担当者の変更 賛助会員■ (株) 角藤 前任) 長澤 和芳 新任) 田中 謙一
(株) 山二 前任) 藤沢 和裕 新任) 米田 満
- 退会 賛助会員■ (株) 荒井造園 荒井 和夫
建築工房 空 小川 明
- 逝去■ (株) 倉橋英太郎建築設計事務所 倉橋 英太郎

懇親ゴルフコンペ 荒井孝明さんが初優勝

スポーツを通じ会員同士の親睦はかる恒例の懇親ゴルフコンペが、長野カントリークラブで行われた。台風の後雨が心配されたが、参加者の願いが通じ、心地よい天候に恵まれ、仕事を忘れ和気あいあいゴルフを楽しんだ。

今までゴルフコンペでの優勝経験が無いという、荒井孝明さん(本久)が見事優勝された。

プレー後のパーティーでは、坂田専務理事から各賞が渡され、ベテラン・若手プレーを振り返りながら親睦を深めるひとときとなった。

参加者は次の通り(順不同、敬称略)。

坂田守夫 / 坂田工業(株)、落合一視 / 落合コンサルタント、黒澤忠 / クロサワメタル(株)、吉田雅彦 / (有) スタジオスペースツー、水沢仁亮 / (株) 二見屋、鎌倉良収 / (株) 鎌倉木材、荒井孝明 / (株) 本久、増田幸雄 / 匠建設(株)、西澤広智 / (株) 宮本忠長建築設計事務所、西宮登喜男 / (株) 綿内瓦工業、北澤徹 / (有) 北澤ステンレス工業、米田満、(株) 山二



小林清英さん、写真展を開催

表装(表具)の老舗(株)清蘭堂の小林清英さん(上田市。信州名匠会会員)は平成27年5月から6月、上田市と長野市にて、写真展「憧憬 白き神々の座Ⅱ」を開いた。

時に厳しく、時におおらかな大自然の風景写真や、ネパールや南米の人々などを写した数十点を展示。本業の表装で高い評価を受けている小林さんらしく、培われた豊かな美意識のもと、撮影の技を極めた作品に、感嘆の声が寄せられていた。



定例研修会●Report

(平成27年5月～10月)

平成27年度第8回研修会 【「ソヤノウッドパーク」 「牛伏川階段工」見学会】

平成27年5月30日(土)

講師:

「ソヤノウッドパーク」 征矢野建材(株) 星川 嘉諒 氏
「牛伏川階段工」 落合コンサルタント 落合 一視 氏
牛伏鉢伏友の会代表 加藤 輝和 氏
長野県歴史館客員学芸員 山浦 直人 氏

参加者: 18名

ソヤノウッドパーク

塩尻市で平成27年4月に操業を開始した、ソヤノウッドパークを見学させていただいた。信州の豊富な森林資源を活用して、森林の価値を高めるプロジェクトの現場である。

日本で唯一、圧密製法によって床材を作ることができるフローリング製造工場を見学した。圧密製法とは、熱を加えながら圧縮して、強固で質の高いものへと加工する製法だ。

午後は製材工場へ移動。トラック30台の原木を一日で製材することができ、年間で最大30万㎡もの生産能力がある。長野県は全国3位の森林蓄積量を誇るものの木材を活用できていない。この工場で長野県全体の森林の成長率約10%を消費することができ、長野県産材の今後の普及が期待される。3万坪超の広大な敷地は、原木から最終製品になるまでいくつかの工場によって分かれている。①原木選別機②製材工場③乾燥機④造作材工場⑤床材加工工場⑥バイオマス発電(平成29年操業予定)等。徹底して自動化によって、数名で各工場を稼働できる。省人化と生産性の両立を可能にし、全国や世界との競争を見据えていた。

製材工場では毎秒360回のレーザーสキャンにより、そ



フローリング材の製造工程を説明する星川氏



貯木場を見学

の原木にあった木取りを自動で行う。また床材加工工場では3種類のカメラでスキャンを行い、寸法や欠点を検知しグレードごとに仕分けすることができる。従来であれば数十名を要する工程であるが、本工場では3名で行う。次々にスキャンされ瞬時に適切な長さへと切断されていく様子は圧巻である。バイオマス発電は、製材過程で出たオガ粉や皮、枝や葉まで余すことなくすべてを発電の材料とする計画である。

重要文化財「牛伏川階段工」

この後、当会会員の落合氏の先導で、土木遺産「牛伏川階段工」(重要文化財)に向かった。牛伏川階段工の調査・保存・保全に尽力している加藤・山浦両氏に散策路を案内いただき、貴重な写真もを見せていただきながらお話を伺った。

牛伏川は幾度も災害を受けてきた。その災害の歴史と、防災に取り組む先人の足跡に触れながら、階段工が創り上げる風景を堪能した。コンクリートを使わない空石積み工法で造られており、機械がなかった約百年前に人の手で積み上げられた。19段の水叩きがあり、その各段の間には小段が設けられている。石に水がぶつかり音を奏で、流れに模様ができる様子は、水の勢いを緩衝するだけでなく芸術的な景観を作っている。



牛伏川階段工

大変天気が良く暑い1日であったが、大自然に囲まれながら階段工の繊細かつ力強い空間にふれられ、暑さと疲れを忘れる気持ちの良いひとときとなった。(西澤 広智)

平成27年度第1回研修会 【降幡氏から民家の歴史を学ぶ】

平成27年7月25日(土)

講師: 降幡 廣信氏 ((株)降幡建築設計事務所当会 副会長)
参加者: 19名

民家の歴史について学ぶ研修会を松本市内の、かつて降幡氏が民家を再生した「館そば」で開いた。同会副会長で古民家再生の第一人者として知られる降幡廣信氏が講師を務めた。

会場は、降幡氏が中南信地域特有の「本棟造り」の古民家を改修し、そば店兼住居として再生した建物。会員や建築を学ぶ学生らが参加し、先生のお話をお聞きしたあと、参加者がそれぞれ自己紹介するなど和気あいあいと交流を深めた。建物を降幡氏に案内いただいた後、打ちたての大変おいしいそばを味わった。

研修で降幡氏は、「民家」と「和風住宅」の成り立ちの違い



日本の住まいについて熱く話される降幡先生



「館そば」を背景に記念撮影

一方、和風住宅は「玄関+高床」をベースとしており、平安時代の「寝殿造り」や桃山・江戸時代の「書院造り」の様式を継承しながら、明治時代には西洋文化の影響も強く受け現在に至っていると説明した。

(関 卓実)

平成26年度第2回研修会 信州名匠会リレートーク 【「外壁」の知識深める】

平成27年9月17日(木)

講師：講師／(株)本久 荒井 孝明氏

クリオン(株) 大木 信氏

参加者：19名

会員がそれぞれの専門分野について話すリレートークの第8回は、「外壁材」についてお話しを伺い、情報・知識を深めた。さまざまな外装材を取り扱う本久(長野市)の荒井氏がサイディングについて材質や特徴を説明したほか、同社と取引のあるクリオン(東京都)の大木氏が特殊な建築などにも用いられるALCパネルについて解説した。

荒井氏は窯業系、金属系、押出成形セメント板系といった材質の違うサイディングについて、それぞれの特徴を説明。「新築戸建て住宅では窯業系が7割を占めるが、長野のような寒冷地では、軽くて施工性に優れ、凍害に強く断熱性も窯業系の2.4倍と高い、金属系サイディングの出荷も多い」などと話した。また各サイディングメーカーが「フッ素コートや光触媒などの技術を用いて、雨によって自然に汚れを落とす機能に力を入れている」と紹介。外壁の工法にも触れ、「目地がなく意匠性に優れ、通気も取れる大型サイディングによる大壁工法が普及してきている」と話した。

大木氏は、東京スカイツリーの建設に自社製品を納入し、現場で施工にも携わった経験を映像で紹介しながら、ALCパネルの特性を解説。スカイツリーの地下1階から第2展望台

を解説。民家のルーツが縄文時代の竪穴住居にあるのに対し、和風住宅は弥生時代の高床倉庫に端を発しているとした。

降幡氏によれば、民家は「土間+高床」のつくりを基本とし、気候条件など地方の特色を色濃く反映。具体例として本棟造りや五箇山集落(富山県南砺市)の「合掌造り」を紹介した。

まで高さ4755mに及ぶエレベーターホール(円筒部)の内壁に100mm厚のALCパネルを張り巡らせた工事を振り返った。「400m超という異次元の高さは(自社

でも)初めて。限られた工期の中で、風荷重、耐力など高い要求性能を満たさなければならない難工事だった」と語った。地上で4階建ての建物に相当する高さの鉄骨ユニット(重量20t)を組み立て、それをタワークレーンでつり上げていく施工方法なども紹介。「工事の終盤では東日本大震災が起きたが、パネルの脱落は1枚もなく安心した」との体験も披露した。

(関 卓実)



スカイツリーの建設について語る大木氏と、荒井氏(大木氏の右)。

平成27年度 第3回研修会 【「エヴァンゲリオンと日本刀展」見学】

平成27年10月29日(木)

講師：刀匠 宮入 恵氏(当会顧問)

参加者 32名

鉄の展示会で開催されている「エヴァンゲリオンと日本刀展」を見学し、当会顧問である刀匠の宮入恵氏に展覧会の内容と日本刀についてお聞きした。

日本刀は敷居が高いと思われがちだが、今回のようなコラボレーションにより近年では女性からの関心が高まっている。日本刀は何が美しいのか、何を大切にしてきたのか、言葉だけでなく実物を見ることで、魅力に気づき若い年代からも支持されるように感じた。私自身も初めて日本刀を見せていただいたが、日本刀にも様々な種類があることに驚いた。会員のみなさんが、それぞれの「好み」を語り合う姿がとても印象的だった。

日本刀と建築業は異分野であるが、それぞれの工程に職人がおり、匠たちの力で一つの刀が仕上がる過程は、建築の分野にも通ずるものがあると感じた。

年々職人が減少している事態も、共通の課題である。長い鍛錬の期間を経て習得される技術と知恵を、若い年代が受け継いでいかなければいけないと感じた。

(中村明穂)



宮入恵氏



真剣による居合斬りを披露する黒澤忠氏(当会会員)